

2018夏号

No.28

発行:平成30年
7月

- 和 コミュニケーションづくり
- 輪 なかまづくり
- 環 しくみづくり

サロンより
サロンド

笑顔の

山手1丁目水曜会



P2 わがまちサロン

P2 メダカーズ(蒲刈地区)

P3 石原・小林ふれあいサロン(倉橋地区)

P4 山手1丁目水曜会(第8地区)

P5 健康豆知識「健康寿命をのばそう！」

P6 P7 脳トレクイズ

P8 ふれあい・いきいきサロン アンケートの報告



社会福祉法人
呉市社会福祉協議会

〒737-8517 広島県呉市中央5丁目12番21号

♪ 0823-25-3505

□ <http://www.kureshakyo.jp>

✉ info@kureshakyo.jp



蒲刈地区 メダカーズ

うちの白慢は『楽しむことが元気の源』



コーラスでカープを応援！

みんなでハーモニーを奏でることです。歌うことが楽しいので、家でもよく歌っています。声を出すことで気持ちも元気になります。

自慢

サロンが始まる前のおしゃべりも練習も片付けも帰り道も、とにかく笑顔で楽しんでいます。サロン発足時からの最高齢92歳のメンバーも元気に参加していて、「あの人みたいに年を取りたいんよー」とみんなのあこがれです。コーラ

サロン活動の動機

農業のあい間に、集まって楽しい時間を過ごしたいという思いから、1990年（平成2年）にスタートしました。

楽しかった内容

みんなでハーモニーを奏でることです。歌うことが楽しいので、家でもよく歌っています。声を出すことで気持ちも元気になります。

ひと

もう少し人数が増えたらなど思います。メンバーが増えたり、今よりもさらにパワーアップできます！

指導もユーモアたっぷり！

キレイな歌声に癒やされます♪

スだけでなく、人生の先輩から生き方も学んでいます。

課題

開催場所／宮盛集会所
開催日／第2・4月曜日
開催時間／14時～15時
代表者／篠永恭子



“みんなで楽しむ”という思いがサロン発足当時から受け継がれており、今も変わらずみんなの楽しめる居場所になっていますね。

倉橋地区 石原・小林ふれあいサロン



みんなと飲むコーヒーは、おいしいわ♪

自慢
役割分担をして仲良く協力しあっています。また、サロンだけに留ま

サロン活動の動機
19年前、倉橋町社協の勧めで、長寿会・民生委員・女性会で立ち上げました。みんな仲良く、お互いの健康を確認したいという思いで、今まで続けてきました。

楽しかった内容

毎月のお誕生会。地域の達人が民謡を披露してくれます。年を重ねると祝つてもうつことが少なくなるので、とても楽しみです。採れたての野菜を持ち寄り、ときには、男性陣がカレーを作ることもあります。片付けは、女性陣も協力しますよ。



警察署の話を聞いて、ワシもだまされん！



歩一步たいそうで背筋がピン！



サロン活動は地域づくりの第一歩。一人ひとりの地域を思う温かい気持ちが重なり、20年もの長い間、続いているのだと思いました。

いざ、町を花つづけよひ「花づく運動」など、地域に力を向けた活動もしてきました。

課題

高齢化が進み、参加者が少しづつ減ってきております。

ひとこと

「いつまでも元気でござれるよう、「お互いさま」を合言葉に助け合っています。これからも、樂しくサロンが長く続けられますが、」

開催場所／石原老人集会所
開催日／(石原) 第1金曜日
(石原・小林合同) 第3金曜日
開催時間／10時30分～13時
代表者／中本勲



第8地区 山手1丁目水曜会

うちの白慢は『美味しいご飯で笑顔いっぱい』



笑顔が溢れる楽しいサロン

自慢

美味しい料理が自慢です。一人分だと作らないような手の込んだ料理を楽しみにしています。

楽しかった内容

食事の後は、いつも来てくれる講師（医師や福祉専門職）が健康に役立つ知識を教えてくれます。ちょっとした疑問も丁寧に答えてくれるので、楽しく参加しています。

ひと言

自分の作った野菜やお米を提供してくれる人もいるので、献立に役立てています。食事をいただく前には、感謝の言葉を伝えています。



みんなで指を使った脳トレ♪



このクイズ難しい！

サロン活動の動機

仲良しサークルで集まっていますが、一人暮らしの高齢者が多く、「みんなで楽しく食事ができたらいいよね」と平成7年から毎月、開じています。

課題

ボランティアの後継者的事情です。今いるボランティアは長年ずっと続けてくれている人ばかりです。新たに、地域に協力してくれることを増やしていきたいです。



健康寿命を延ばそう!

転倒・骨折で要介護にならないために

高齢になると、筋力やバランス感覚が衰えて転倒しやすくなります。動けない状態が長く続いたり、大腿骨を骨折して回復に時間がかかると、歩行機能が衰えて要介護になるリスクが高くなります。しっかりと歩け、転倒しても骨折しにくい体づくりのため、積極的に運動を取り入れましょう。筋肉・骨量ともに、運動することで年齢に関係なく量をふやすことができます。

○ スクワット（下半身の筋力アップ）

1セット5回～10回を目安に、1日2～3セット

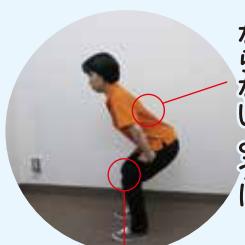
- ① 良い姿勢で立つ。
- ② 椅子に腰かけるように、息を吸いながらゆっくりおしりを後ろに引いていく。
- ③ 息を吐きながら、ゆっくり立ち上がっていく。完全に膝を伸ばしきらない。



目線は正面



つま先と膝は正面
足は肩幅くらい



膝がつま先より
前へ出ないよう



膝は中に入らない
ように幅を保つ

○ 片足立ち（バランス感覚を鍛える・骨密度アップ）

左右1分間ずつを1日1セット～3セット

- ① 片方の脚を5～10cm程度上げて、反対側の脚で1分間立つ反対側も同様に行う。



バランスを崩したとき、
すぐにつかめるような
机や手すりの横で
行いましょう

○ かかと落とし（骨密度アップ）

楽にできる回数から始め、1日の合計30回を目安にする

- ① 姿勢を良くし、両足のかかとをできるだけ真っ直ぐ上へあげる。
- ② 体の重みを伝えるよう、かかとを強めにストンと落とす。



○ 座って足踏み（骨密度アップ）

姿勢良く座り、強めに足踏みする。30回くらいを目安に

💡 どの運動も、体の状態にあわせて無理なく続けることが大切です。

骨粗しょう症治療中の方や膝に痛みがある方は、運動を開始する前に医師に相談してください。

💡 転倒の場所は屋外よりも家の中が多いので、住環境を整えることも大切です。

- ・滑りやすい廊下・フローリング・浴室に手すりをつける
- ・敷居のわずかな段差にミニスロープを置く
- ・床や階段に物を置かない



遊びゴコロで、楽しく！
チャレシジ 脳トレ



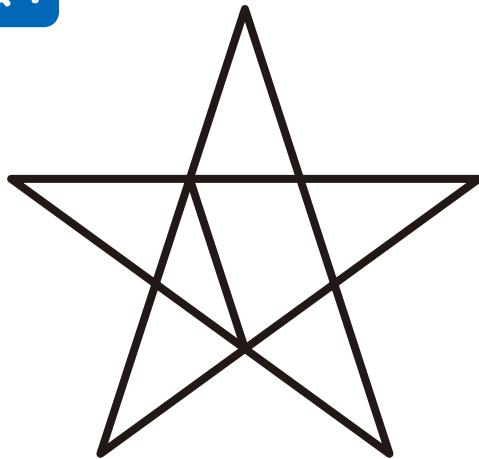
Q1 かけたり、たったり、
つぶしたりするものってなんだ？

Q2 1日に2回あるのに、1年に1回
しかないものってなんだ？

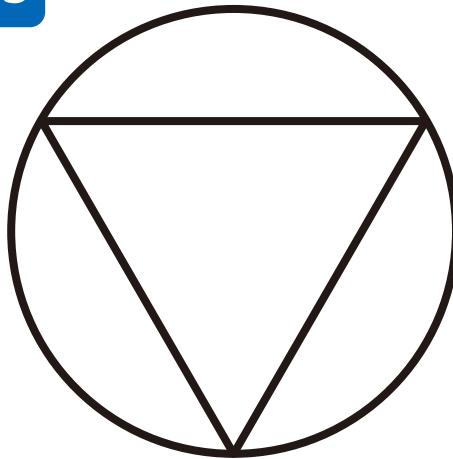
Q3 A, B, Cの3つの本があります。一番オモシロいと話題の本がCの本なのですが、
本屋に来るお客様はAの本を必ず買っていきます。さて、なんででしょう？

○ 一筆書き

Q4



Q5



○ 二つの県名を答えてください

Q6

くひまきめ

Q7

さかまく

◎ 分けられた 1 文字の漢字を答えてください

Q8



◎ 脳トレの答え

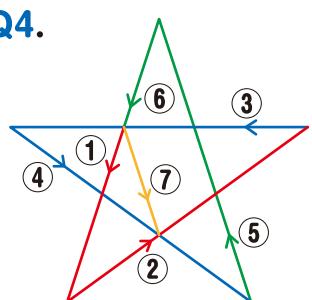
Q1. 正解は【時間】です。時間を掛ける、時間が経つ、時間を潰す。

Q2. これはひらがなにすると分かってくると思います。

「いちにち」「いちねん」正解は【ちの数】です。

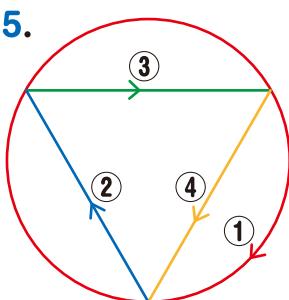
Q3. 正解は【A が上巻, B が中巻, C が下巻】ということで、まずは、上巻から読むので、
A が一番売れる] ということでした。

Q4.



答え参考例

Q5.



答え参考例

Q6. えひめ・くまもと

Q7. わかやま・きょうと

Q8. 夢



お詫び 前号 No.27 の内容に誤りがありましたこと、心より深くお詫び申し上げます。

P.6 ふれあい・いきいきサロン世話人研修会 ひよこ塾プログラム



10月2日(火)午前：広
12月11日(火)午後：すこやか



10月2日(火) 午後：広
12月11日(火) 午前：すこやか

平成29年11月
世話人を対象に
実施したアンケート
の報告

ふれあい・いきいきサロン

ふれあい・いきいきサロンは、介護予防はもちろん、身近な場所で仲間が集まって(場づくり)、おしゃべりなどを楽しみながら、友達の輪を拡げていく(仲間づくり)活動です。

いつでもどこでも地域住民の「お互いさま」の心がつながるところもあります。そして、今、呉市でもたくさんの支え合いの輪が拡がっています。

世話人の皆さんからいただいた貴重なご意見を、〈魅力〉〈課題〉〈サロンをもっと楽しむために!〉の3つのテーマに分けて、今号より3回の連載で報告します。

第1回「サロンの魅力(3つのチカラ)」

○ 出会いの場として

- ◆ 老人会がなくなり、近所の人と顔を合わす機会が減ってきました。
サロンを立ち上げ、またみんなと集まる場ができる嬉しいです。
- ◆ サロンに来るようになって、新しい友達ができました。



○ 元気になれる場として

- ◆ 一人暮らしだと誰ともしゃべらない日も…。
たくさんしゃべって笑えるサロンは、心も身体も元気にしてくれます。



○ 地域とのつながりの場として

- ◆ 高齢者が多いまち。だからこそ、「今日も元気しとる?」がサロン仲間の合い言葉になっています。
- ◆ ムードメーカーの男性は、軽い認知症がある奥さんと一緒に参加しています。
サロン中、ご夫婦は別々の友人とおしゃべりしながら、それぞれの時間を楽しんでおられます。旦那さんは、いつも「サロンで知り合った仲間が散歩中に声をかけてくださり、地域に見守られているという安心感がある」と話されています。

普段は少し静かな自治会館。でもサロンの日は、会場に響き渡る笑い声とたくさんの笑顔があります。この素敵な雰囲気をつくっているのは、あなた(世話人さん)です。この日のために汗を流してくださっているあなたの存在、そしてサロンは、「地域の宝」です。

身近なところで出会い、交流し、顔見知りから顔なじみになる…サロン活動は地域づくりの第一歩。無理をせず、仲間と一緒に“私たちのサロン”を大切にしていただきたいと思っています。

* 次回(10月発行)は、「サロンの課題」をお伝えします。ぜひ、ご覧ください!

